

ベンチ設置実験結果の概要をご報告します。

実験結果については、まちづくり懇談会での検討材料として今後のまちづくりに活用していきます。

■利用実態

- ・1台あたり平均約93分利用されました。(※5分間隔での定点カメラ撮影による確認。実施概要の(4)調査内容を参照)
- ・曜日による利用状況の違いは、今回の実験では明確に認められませんでした。
- ・時間帯では、昼過ぎの13～15時が最も多く利用されました。
- ・設置場所別では、ゆめりあ1の入口部分やサンメリー前のベンチの利用が多く、利用が少なかったのは、周囲に大量の自転車が置かれたカジュアルハウス前や人通りが少ないゆめりあ1の北側でした。

■ベンチ設置へのご意見

- ・ベンチの利用者に対するアンケート調査では、まち中にベンチを置くことについて多くの人から肯定的な意見が寄せられました。
- ・ただし、ベンチの設置が、「北口地区のイメージアップにつながる」かどうかは、今回の実験結果だけでは十分に確認できませんでした。
- ・ベンチを置くべき場所として、「人通りが多い場所の設置」「広い範囲に一定間隔で設置」「駅近くに集中的に設置」「店舗の前に設置」などに意見が分かれました。
- ・みずほ銀行前の歩道の利用方法については、「ベンチを置く」という回答が最も多く、次いで「フラワーポット等で緑を増やす」「自転車を置く」という回答でした。

■その他

- ・実験後も引き続きベンチを置いてくれる方がおり(民有地)、まち中にベンチが増える結果となりました。
- ・ベンチ周辺にゴミが捨てられる、ベンチに座って喫煙されるなどの問題も発生しました。
- ・深夜に同一人物による長時間利用があることが確認されたましたが、今回の実験では、長時間利用により問題が発生することはありませんでした。ただし、防犯上の問題や街のイメージ低下などの問題が発生する可能性もあるため、今後の検討すべき課題と言えます。

※上記結果概要については、2・3ページの「ベンチ利用実態の概要」および「アンケート結果の概要」をご参照ください。

■ベンチ設置実験の実施概要



(1)目的

「まち中にベンチを設置して休憩できる場所をつくること、高齢者をはじめとして北口地区を訪れる人たちによって喜ばれ、そのことが北口地区のイメージアップにつながるのではないか」という仮説を実験的にベンチを設置してみることで確認し、今後、設置を検討する上での基礎資料とすることを目的とする。

(2)実施期間

H22/10/4(月)10時～18(月)10時の2週間

(3)設置場所・台数

5箇所計7台(左図参照)

(4)調査内容

①利用実態の調査

区道22-152号線歩道上およびサンメリー店舗入口付近に設置した4台のベンチについて、固定カメラにより5分間隔で24時間撮影を行い、ベンチの利用状況の定量的な把握を行った。※カメラの設置については、「練馬区の安心と安全を推進する条例」に従った手続きのもとに実施しました。

②アンケート調査

ベンチ設置期間中、主としてベンチの利用者に対して聞き取りによるアンケート調査を実施し、利用者の属性やベンチの評価等の把握を行った。

ベンチ利用実態の概要

○4台のベンチの延べ利用者数は 1,038 人でした。

※みずほ銀行前歩道上の3台とサンメリー前の計4台のベンチについて5分間隔にて撮影した写真にてカウント

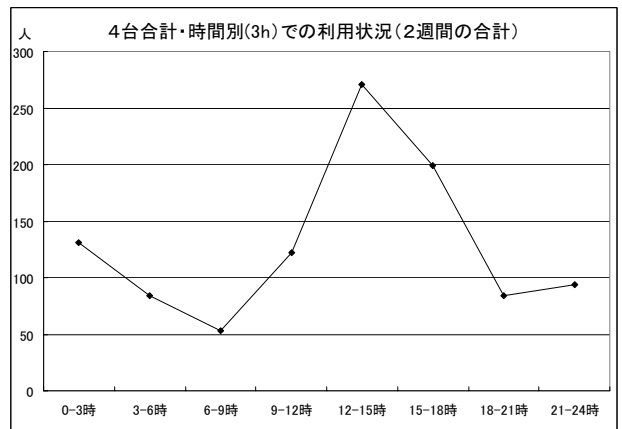
※同じベンチでの連続した同一者の利用も1人とカウント

○ベンチ1台あたり、1日平均で約93分利用されました。

※撮影時にベンチ利用者が写っていた場合に、その者は5分間ベンチを利用したと仮定

(1)4台合計・時間帯別の利用状況

- 時間帯別では、通勤時間帯の朝 7-9 時頃がもっとも少なく、午後 13-15 時頃にかけてもっとも多く利用される傾向がありました。
- 0-3 時等の深夜にも小さな利用のピークがみられますが、深夜に関して同一人物による長時間の利用が特徴であったことが原因と考えられます。



(2)設置場所別・時間帯別の利用状況(3時間単位で集計)

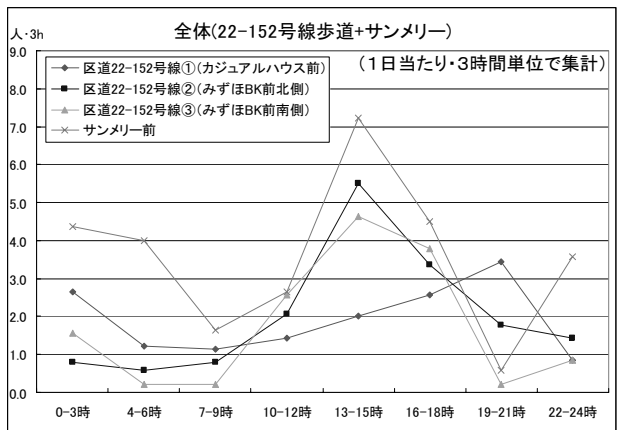
①平日・休日合計での利用状況

【カジュアルハウス前】夕方から夜にかけて利用頻度が高くなる傾向がありました。放置自転車で囲まれて他のベンチより利用頻度が低かったが、いったん座られると、長時間利用される傾向があったことも特徴です。

【みずほ銀行前北側】深夜早朝の利用は少なく、13-15 時に利用頻度が高くなる傾向でした。

【みずほ銀行前南側】昼前から利用頻度が高くなり、13-15 時がピークでした。また 10-18 時の時間を通して全般的に利用されました。

【サンメリー前】13-15 時がピークでした。深夜の時間帯の利用頻度も高く、1日2回のピークがありました。



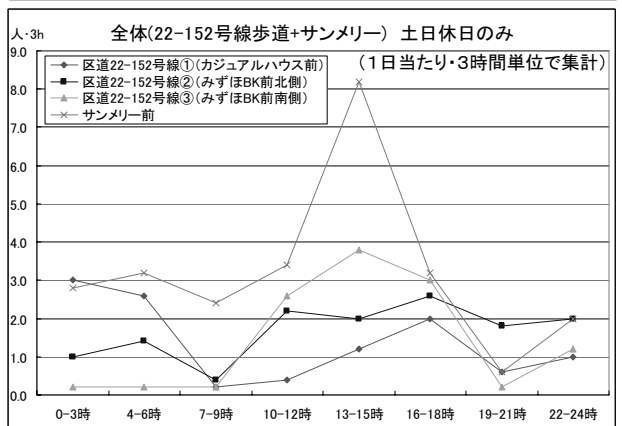
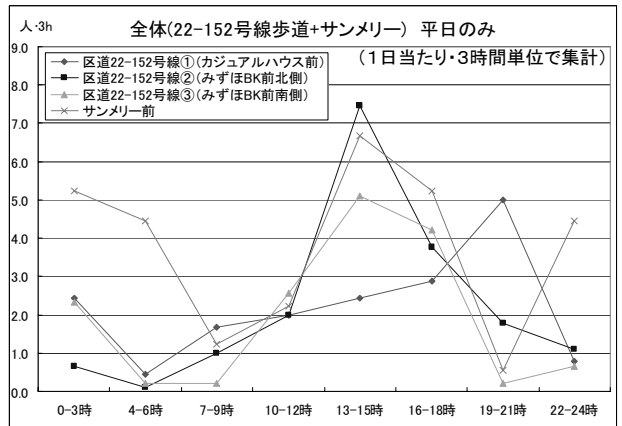
②平日・休日別での利用状況

【カジュアルハウス前】学生の終業後の利用等により平日の夕方から夜にかけて利用頻度が高く、休日と異なる傾向が見られました。

【みずほ銀行前北側】平日の 13-15 時が突出して利用頻度が高くなっており、休日では 10-24 時の間で概ね横ばいで推移しています。

【みずほ銀行前南側】利用頻度が平日で若干高いものの、平日休日とも概ね同様の傾向でした。

【サンメリー前】休日の 13-15 時の利用頻度が突出して高く、平日では 13-18 時と 22-6 時で利用頻度が高い傾向が見られました。



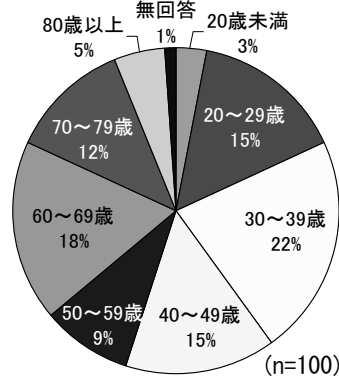
アンケート結果の概要

【実施概要】

- 聞き取り調査（調査日時における7台のベンチ利用者ほぼ全てを対象）
- 平日 50名、休日 50名
- 実施日と人数 10/8(金)午後:24名、10/11(月・休)午後:30名、10/12(火)午後:26名、10/16(土)午後:20名

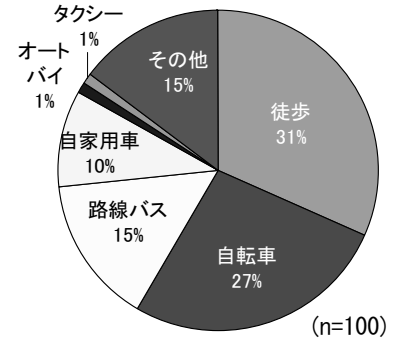
①回答者の性別と年齢

- ・利用者の性別は「男性 42%」、「女性 58%」でした。
- ・年代は「30歳代」が最も多く、次いで「60歳代」、「20歳代」、「40歳代」でした。



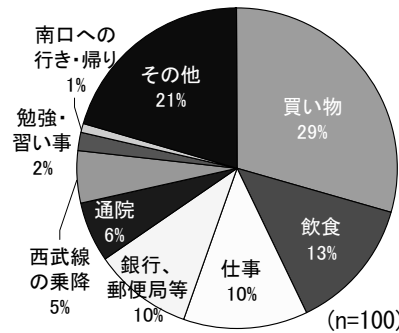
②北口までの交通手段

- ・「徒歩」と「自転車」がそれぞれ約3割と多かった。



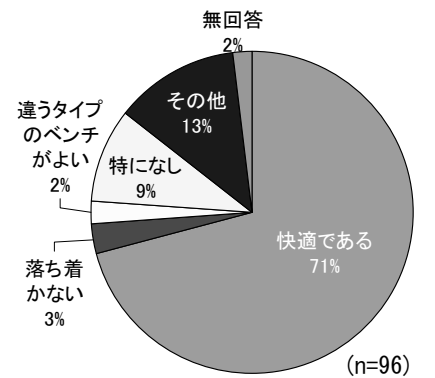
③北口に来た目的

- ・「買い物」が最も多く3割、次いで「飲食」、「仕事」などが多かった。



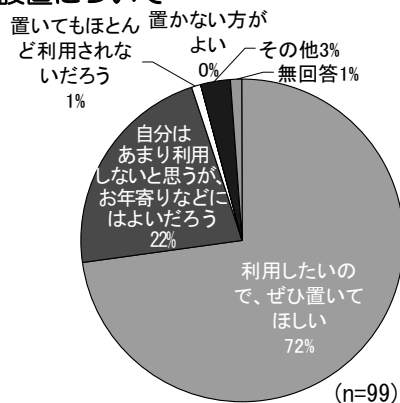
④ベンチに座った感想

- ・「快適である」が約7割と好評でした。
- ・「その他」で「荷物をちょっと置く・整えるのに便利」という方が多くいました。



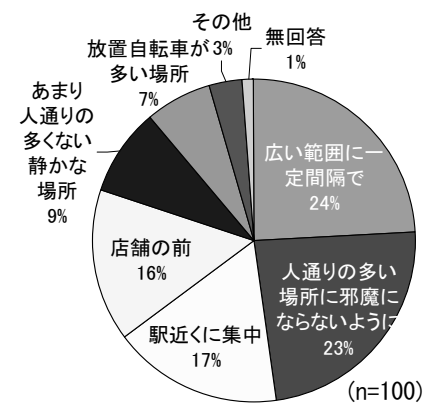
⑤まち中でのベンチの設置について

- ・「利用したいので、ぜひ置いて欲しい」が7割以上で「自分はあまり利用しないと思うが、お年寄りなどにはよいだろう」を合わせると94%に達しました。



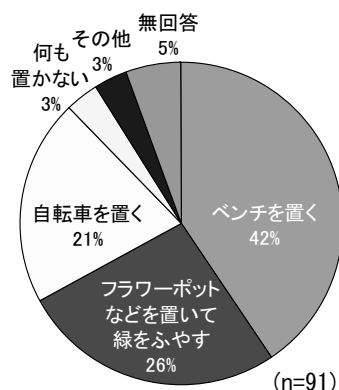
⑥ベンチを置く場所

- ・各選択肢に回答がばらけましたが、「放置自転車が



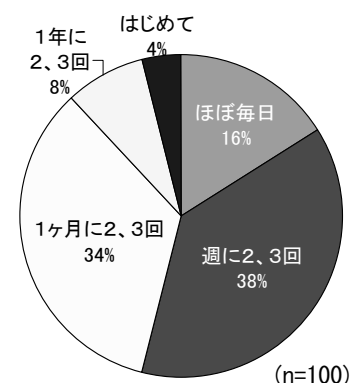
⑦みずほ銀行前歩道の利用方法

- ・「ベンチを置く」が42%と最も多く、次いで「フラワーポットなどを置いて緑をふやす」、「自転車を置く」という結果でした。



⑧北口商店街の利用頻度

- ・「週に2、3回」の利用の方が38%と最も多く、次いで「1ヶ月に2、3回」の34%でした。



※表中「n」は有効回答数

北口地区の地区計画、市街地再開発事業等の 原案説明会が開催されました。

さる平成22年11月16日(火)に北口地区の地区計画と市街地再開発事業等の原案説明会が開催されました。当日は、124名の方々にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。

意見交換の内容については、以下に概略をまとめましたのでご覧ください。

なお、今後地区計画、市街地再開発事業等の都市計画については、平成23年2月に練馬区都市計画審議会に、平成23年3月に東京都都市計画審議会に諮られ都市計画決定が行われる予定です。

質問1：鉄道高架とセットで計画をつくるべき。

回答1：都で作成している踏切対策基本方針で鉄道の立体対象区間と位置づけられています。現段階では事業のめどが立っていません。

質問2：大泉街道と旧大泉街道が複線化しており、1本の道路とすべき。

回答2：再開発の中だけでの対応では限界があるため、放射7号線の延伸も踏まえて検討していきます。

質問3：商業施設の規模・業種イメージを知りたい。

回答3：商業施設の規模・業種はまだ決まっています。組合事業ですが、区としても集客力のある施設を入れるように要望していきたいと考えています。

質問4：商業の駅南側との棲み分け等の考えを教えてください。

回答4：業種制限は考えていませんが、地域として活性化するように考えています。

質問5：再開発北側の約10mの道路整備では、道路北側の建物も壊されるのか。

回答5：再開発側で後退して整備しますが、現在道路中心から2m後退していない建物については、建替えの際に建築基準法に従って現在の道路中心から2m後退してもらうこととなります。

質問6：交通量が増え、踏切の危険性が増すことについて対応して欲しい。

回答6：現行の踏切幅は難しく、再開発にあわせての幅は考えておりませんが、警察等とも協力し、施設の交通動線の工夫等を行っていきたくと考えています。

質問7：計画のバスルートは、反対回りにした方が良くはないか。

回答7：バス乗り場やバス待機場所、道路横断の安全性等を総合的に検討し、案の回り方としています。

質問8：事業において区の負担する部分と金額を教えてください。

回答8：駅前広場と北側で拡幅する道路の土地費・整備費、デッキの工事費として約30億円(国庫補助、都補助を含む)を想定しています。また、建物整備にあたっての公共的な整備・共同化の一部についての補助、区民事務所や公共駐輪場についての床取得費を想定していますが、現段階では位置・面積等が決まっていないため、額も決まっています。

意見1：再開発について地権者をまとめてくれたことに感謝したい。今後長距離バスの発着等にも活用してもらえようにして欲しい。

質問9：再開発に商業が入ることで、買い物や食事がそこで済まされてしまわないか。

回答9：新たなデッキの設置や同時に都市計画決定する地区計画で歩きやすく回遊しやすい街づくりを進めていきます。

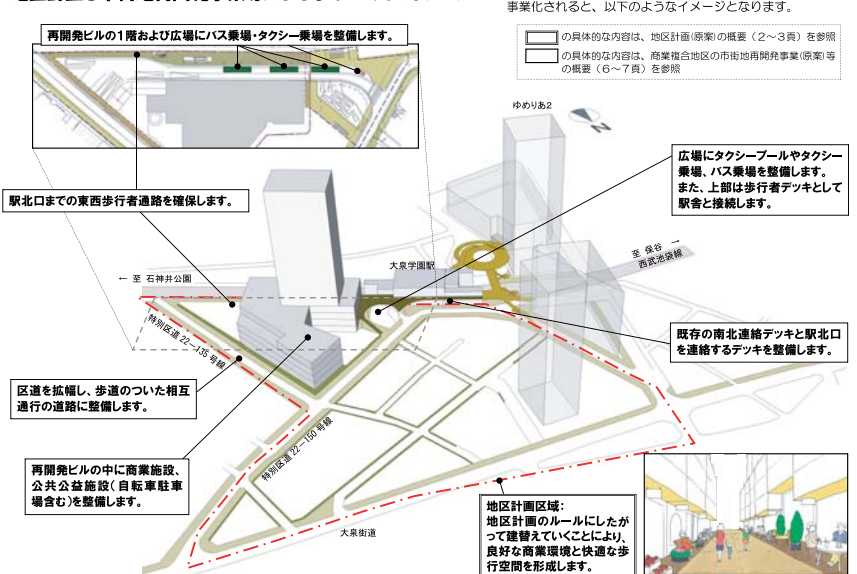
質問10：再開発でできる道路の歩道はどのようになるのか。

回答10：北東側の道路に2.5m~3.5m程度の歩道を設置する予定です。

質問11：大江戸線が延伸されても活性化計画として欲しい。延伸の影響データがあれば教えてください。

回答11：現在延伸が可能かどうかを検討中で、現段階では時期等も未定です。大泉学園駅北口地区では地元の方々の取組と再開発が一体となって活性化を進めていけるよう懇談会を概ね月1回行っています。

地区計画と市街地再開発事業によるまちづくりのイメージ



これからも地域のみなさまには、まちづくりニュースを通して、懇談会の活動についてお知らせしていきたいと思っております。これまでに発行したまちづくりニュースも練馬区ホームページに掲載されていますのでご覧ください。
(掲載場所 <http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/machi/kakuchiiki/oizumi/index.html>)

**大泉学園駅北口地区のまちづくりについてご意見・ご要望がある方は、
下記の《お問い合わせ先》事務局までご連絡ください。**

◆お問い合わせ先

《事務局》練馬区 環境まちづくり事業本部

都市整備部 西部地域まちづくり課 池上、望月、三好、多賀

TEL 03(5984)4753(直通) E-mail seibu02@city.nerima.tokyo.jp